佳作　八回測って一回切る

エンフアムガラン　ビャンバドラム
ENKH AMGALAN BYAMBADULAM
国　　籍　モンゴル
職　　種　機械検査
実習実施者　株式会社日ピス岩手
監 理 団 体　九州ネット協同組合

モンゴル語には「七回測って一回切る」ということわざがあります。これは「何か行動を起こす前にしっかり確認し、慎重に判断しなさい」という意味です。モンゴルにいた頃、日本人について「七回ではなく八回測って一回切る人たちだ」と話しているのを聞いたことがあります。その時はただ笑って流しましたが、日本に来て実際に自分の目で見てその意味を本当に理解することができました。仕事に慣れてきた頃、職場に作業をチェックする女性がいました。彼女は私の作業をとても時間をかけて確認し、ミスを見つけると必ず私に持ってきて「もっと注意しなさい」と指摘しました。また私が作業している最中に抜き打ちでチェックをすることもありました。その時の私は「自分でしっかり確認したのにどうしてまたチェックするのだろう」とか「私のことを信用していないのかな？もしかしてきらわれているのかも？」と考え、少し落ち込むこともありました。しかしある日、会社でしっかり包装された製品をもう一度開封して検査しているのを見かけました。不思議に思い理由をたずねると「完成した製品の中に不良品が見つかったため再チェックしている」とのことでした。その時私は仕事でミスをすると同僚にどれだけ迷惑をかけるのか、そして会社に余分なコストが発生してしまうことを初めて実感しました。そしてあの女性が私の作業を何度も確認していた理由も理解できた気がしました。彼女は私のことがきらいだからではなく、むしろ私のことを心配し、同僚や会社のために一生けんめい働いていたのです。彼女だけでなく日本の人々は仕事に対してとても丁寧で、何度も確認し、ミスをしないよう細心の注意を払う素晴らしい人たちです。まちに最初に聞いた言葉の通り、「七回ではなく八回測って一回切る」人々だと思いました。つまり私たちが知っている「慎重」というがいねん以上に慎重な人たちなのです。

今では私も自分の仕事を必ず再確認するようになり、自分の仕事に満足できるようになりました。当時私の作業を心を込めてチェックし、ミスを防いでくれたあの女性には本当にかんしゃしています。これからも日本でもっと素晴らしいことを学んでいけると確信しています。